

## 平成28(2016)年熊本地震に係る被災地への支援について

平成28(2016)年熊本地震の発生に伴い、下記のとおり、支援物資を熊本市に送ります。

### 1 支援物資の種類

別紙一覧の通り。

### 2 出発式の実施

#### ○ 出発式概要

- ① 日時：4月16日(土) 19:30～
- ② 場所：市役所本庁舎北側玄関
- ③ 式次第
  - ・ 物資積込
  - ・ 訓示
  - ・ 輸送隊出発

### 3 参考

現在、政令指定都市においては、「広域・大規模災害時における指定都市市長会行動計画」に基づき、支援物資の送付等の支援活動を行っていますが、今回の対応は、これとは別に、仙台市独自で行うものです。

#### ※「広域・大規模災害時における指定都市市長会行動計画」

東日本大震災での経験を踏まえ、迅速性と適切性をもった支援を実現するため、広域・大規模災害の発生当初において、基礎自治体として総合力を有する指定都市が緊密に連携を図り、指定都市市長会として一体となって被災地支援に取り組むことを目的としたものです。

## 仙台市支援物資一覧

品目	数量	備考
粉ミルク	300kg	缶入り:552缶(うち、96缶はアレルギー対応), スティックタイプ:10,400包
哺乳瓶	580本	消毒用容器一式を含む。
アルファ米	240箱(1,200kg)	50食/箱
アルファ粥	140箱(280kg)	25食/箱
紙おむつ(大人用)	28ケース(2,060枚)	Lサイズ:15ケース(1,020枚), Mサイズ:13ケース(1,040枚)
紙おむつ(子供用)	43ケース(10,248枚)	Lサイズ:19ケース(4,104枚), Mサイズ:24ケース(6,144枚)
生理用品	12ケース(10,404枚)	ふつうの日用:7ケース(8,064枚), 夜用:5ケース(2,340枚)
おしりふき	32ケース(102,400枚)	ウエットティッシュとして利用可能
カセットコンロ	38箱(300台)	
カセットボンベ	30箱(900本)	
飲料水	762箱(15,240本)	ペットボトル入り。総量7,620ℓ

記者発表資料  
平成28年4月18日  
(担当) 水道局総務課  
(内線) 740-2110  
(直通) 304-0006

## 熊本市へ非常用飲料水袋を提供しました

平成28(2016)年熊本地震の発生に伴い、支援物資として非常用飲料水袋を熊本市に提供しました。

これは、日本水道協会※熊本県支部から東北地方支部に要請があり、仙台市水道局が提供を行ったものです。

- 1 支援物資 非常用飲料水袋 10,000袋  
(内容量：6リットル 縦：約34cm 横：約33cm)
- 2 経緯  
4月18日(月) 午後1時40分 日本水道協会熊本県支部より提供要請  
午後4時 太白区茂庭浄水場から物資の運び出し  
19日(火) 午前 福岡市水道局に空路輸送  
午後2時 福岡市水道局到着予定。熊本市へ

### ※公益社団法人 日本水道協会

7地方支部(北海道、東北、関東、中部、関西、中国、四国、九州)、46都府県支部5北海道地方協議会を組織。正会員(水道事業体1,361会員)、賛助会員(民間企業等543会員)、特別会員(学識者・研究機関等407会員)など約2,300会員で構成



提供した非常用飲料水袋



運び出しの様子

記者発表資料  
平成28年4月18日  
(担当) 建設局経営企画課  
(内線) 700-4261  
(直通) 214-8812

## 平成28年熊本地震の被災地に技術職員を派遣します

「平成28年熊本地震」により、熊本市内の下水道施設に甚大な被害が発生しました。本日、熊本市長からの災害復旧に向けた調査にかかる職員派遣要請があり、本市では熊本市に技術職員4名を派遣することとしました。今後も現場の状況に応じて順次派遣を行う予定です。

### 1 第1班派遣期間、人数等

(1) 4月19日(火)～23日(土)(5日間)

建設局下水道北管理センター所長 増子 浩規(ますこ・ひろのり) 土木職  
主任 高橋 史典(たかはし・ふみのり) 土木職

(2) 4月19日(火)～26日(火)(8日間)

建設局管路建設課 主査 佐藤 光啓(さとう・みつひろ) 土木職  
技師 古山 道明(こやま・みちあき) 土木職

### 2 従事内容

- (1) 地上部における被害状況確認
- (2) マンホール内滞水状況確認
- (3) 調査票集計 など

### 3 スケジュール

4月19日(火)

9:00 出発式(市役所本庁舎6階 建設局第1会議室)

10:09 仙台駅発(仙台空港アクセス線)

11:40 仙台空港発(JAL)

13:45 福岡空港着⇒熊本市(レンタカー)

4月20日(水)～4月22日(金)(2名は4月25日まで)

下水道管きょに関する1次調査

4月23日(土)(2名は4月26日帰仙(時間未定))

8:00 熊本市発⇒福岡空港(レンタカー)

11:20 福岡空港発(ANA)

13:05 仙台空港着

記者発表資料  
平成28年4月18日  
(担当) 健康福祉局社会課  
(直通) 214-3894  
(内線) 700-3151

## 「平成28年熊本地震」の被害に対する災害義援金を募集します

平成28年熊本地震により、被害に遭われた方々への支援として、災害義援金を募集します。つきましては、本日、市役所、各区役所および社会福祉協議会に募金箱を設置します。

- 1 設置日時                    4月18日(月)午後1時
  
- 2 設置場所  
    (1) 仙台市役所本庁舎1階 市民のへや(案内窓口)  
    (2) 青葉、宮城野、若林、太白、泉の各区役所(案内窓口)  
    (3) 仙台市社会福祉協議会(福祉プラザ)の窓口  
    (4) 仙台市社会福祉協議会各区(青葉、宮城野、若林、太白、泉)および宮城支部の窓口
  
- 3 募金受付期間            4月18日(月)～5月20日(金) ※土日祝日は除く
  
- 4 受付時間                    午前8時30分～午後5時

## 熊本地震の被災地に保健師を派遣します

厚生労働省からの保健師派遣の要請を受け、仙台市では4月19日(火)から熊本市に保健師2名の派遣を行います。

保健師は、熊本市内の避難所において避難者の健康相談などの保健活動を行います。市では、今後1カ月間、順次派遣を行う予定です。

1 第1班派遣期間 4月19日(火)～23日(土) 4泊5日

### 2 派遣職員(3名)

宮城野区家庭健康課 係長 今野明美(このの・あけみ) 保健師  
青葉区家庭健康課 主任 竹森有佳子(たけもり・ゆかこ) 保健師  
健康福祉局健康政策課 係長 堀江和巳(ほりえ・かずみ) 事務職

### 3 スケジュール

・4月19日(火)

8:30 出発式(市役所本庁舎前庭駐車場)

9:15 仙台駅発(仙台空港アクセス線)

10:20 仙台空港発(ANA)

12:25 福岡空港着⇒熊本市(レンタカー)

・4月20日(水)～22日(金)

保健活動および情報収集

・4月23日(土) 保健活動および情報収集、第2班との引継ぎ

13:00 熊本市発⇒福岡空港(レンタカー)

17:00 福岡空港発(ANA)

18:45 仙台空港着

記者発表資料  
平成28年4月18日  
(担当) 危機管理室危機管理課  
(内線) 700-3020  
(直通) 214-8094

## 熊本市へ支援物資が到着しました

4月16日(土)に仙台市を出発した支援物資が、熊本市へ到着しました。派遣職員が撮影した現地の様子をお知らせします。

- 1 到着日時 4月18日(月) 14時15分
- 2 搬送先 熊本市中央区の荷下ろし場所
- 3 支援物資の種類  
粉ミルク、アルファ米、紙おむつなど(別紙のとおり)
- 4 到着までの経緯  
4月16日(土) 20時 仙台市役所出発  
18日(月) 11時40分 熊本市に到着  
14時15分 熊本市指定の荷下ろし場所(中央区)に到着。荷下ろし開始  
15時40分 荷下ろし完了
- 5 荷下ろし作業の様子



到着したトラックと熊本市職員等による  
荷下ろしの様子



自衛隊員による荷下ろしの様子



自衛隊員による荷下ろしの様子



荷下ろし場所



荷下ろし場所全景

※荷下ろし作業等の写真を提供できます。担当までご連絡ください

記者発表資料  
平成28年4月19日  
(担当) 環境局廃棄物管理課  
(内線) 736-3421  
(直通) 214-8226

## 熊本市へ災害用携帯型簡易トイレを提供します

平成28年(2016年)熊本地震の発生に伴い、支援物資として災害用の携帯型簡易トイレを熊本市に提供します。

- 1 支援物資 災害用携帯型簡易トイレ 約20,000枚  
(袋状、縦50cm×横60cm)  
\*既設トイレにかぶせて使用するもの

### 2 経緯

4月18日(月) 指定都市市長会\*より提供要請  
19日(火) 熊本市に陸路輸送予定

\*午後3時から若林環境事業所(若林区今泉字上新田103)で荷積みし、搬出します

### ※指定都市市長会

全国の政令指定都市の緊密な連携をもとに、大都市行財政の円滑な推進と伸長を図ることを目的とし、20政令指定都市の市長で構成



災害用携帯型簡易トイレ

記者発表資料  
平成28年4月19日  
(担当) 危機管理室危機管理課  
(直通) 214-8519  
(内線) 700-3020

～東日本大震災の経験を熊本へ～  
**熊本地震の被災地に職員を派遣します**

熊本市からの要請を受け、仙台市では4月20日（水）から熊本市に支援物資管理と避難所運営に関するノウハウを有する職員2名を派遣します。

職員は、熊本市災害対策本部において、支援物資の管理・輸送および避難所運営等に関する支援活動を行います。

1 派遣期間 4月20日（水）～24日（日）4泊5日

2 派遣職員（2名）

(1) 支援物資の管理・輸送支援

まちづくり政策局政策企画部 部長 天野 元（あまの・げん）  
（東日本大震災当時）

経済局産業振興課長。支援物資の管理・輸送に係る企画立案等の中心を担った。

(2) 避難所運営支援

まちづくり政策局 防災環境都市推進室 エネルギー政策担当課長  
加藤 博之（かとう・ひろゆき）  
（東日本大震災当時）

経済局産学連携推進課事業化支援係長。避難所の運営や支援物資の管理・輸送の実務に従事した。

3 スケジュール

・ 4月20日（水）

8：30 出発式（市役所本庁舎前庭駐車場）  
9：15 仙台駅発（仙台空港アクセス線）  
10：20 仙台空港発（ANA）  
12：25 福岡空港着⇒熊本市（レンタカー）  
支援物資輸送、避難所運営に関する支援活動

・ 4月20日（水）～23日（土）

支援物資輸送、避難所運営に関する支援活動

・ 4月24日（日） 支援活動および情報収集

13：00 熊本市発⇒福岡空港（レンタカー）  
17：00 福岡空港発（ANA）  
18：45 仙台空港着

記者発表資料  
平成28年4月19日  
(担当) 建設局経営企画課  
(内線) 700-4261  
(直通) 214-8812

## 平成28年熊本地震の被災地へ 第2班・第3班の技術職員を派遣します

「平成28年熊本地震」により、熊本市内の下水道施設に甚大な被害が発生しました。熊本市長からの災害復旧に向けた調査にかかる職員派遣要請に基づき、本市から熊本市に第2班・第3班の技術職員計6名を派遣することとしました。

今後も現場の状況や調査の進捗状況に応じて、追加派遣について検討してまいります。

### 1 第2班

(1) 派遣期間 4月21日(木)～28日(木)(8日間)

(2) 派遣者(4名)

建設局経営企画課 主幹 水谷 哲也(みずたに・てつや) 土木職

下水道調整課 主査 小松 孝輝(こまつ・こうき) 土木職

技師 赤坂 紀彦(あかさか・のりひこ) 土木職

施設建設課 主任 丹野 文裕(たんの・ふみひろ) 土木職

※早期に第1次調査を完了させるための追加派遣

### 2 第3班

(1) 派遣期間 4月22日(金)～28日(木)(7日間)

(2) 派遣者(2名)

建設局施設建設課 課長 菅野 富夫(かんの・とみお) 土木職

下水道南管理センター 技師 佐藤 正太(さとう・しょうた) 土木職

※第1班の一部職員の交代要員として派遣

### 3 従事内容

(1) 地上部における被害状況確認

(2) マンホール内滞水状況確認

(3) 調査票集計 など

### 4 スケジュール

4月20日(水) 17:00 出発式(市役所本庁舎6階 建設局第1会議室)

21日(木) (第3班は4月22日出発)

10:20 仙台空港発(ANA)

12:25 福岡空港着⇒熊本市(レンタカー)

22日(金)～27日(水) (第3班は4月23日～27日)

下水道管きょに関する1次調査

28日(木) 17:00 福岡空港発(ANA)

18:45 仙台空港着

～東日本大震災の経験を熊本へ～  
**熊本地震の被災地への職員派遣状況**

平成28年熊本地震の発生に伴い、熊本市等からの要請を受けて対応している、仙台市の職員派遣状況と、今後の予定をお知らせします。

**1 派遣人数**

- |               |      |
|---------------|------|
| (1) 現在までの派遣人数 | 11名  |
| (2) 今後の派遣予定人数 | 100名 |
| (3) 計         | 111名 |

**2 派遣職員の業務内容等**

(1) 先遣隊

- |     |                 |
|-----|-----------------|
| ①日程 | 4月17日(日)～20日(水) |
| ②人数 | 2名(事務職1名、消防職1名) |

(2) 下水道施設の災害復旧に向けた調査業務

- |     |                 |
|-----|-----------------|
| ①日程 | 4月19日(火)～28日(木) |
| ②人数 | 延べ10名(土木職)      |

(第1班2名×2チーム(派遣済み)、第2班4名、第3班2名)

(3) 被災者の健康支援業務

- |     |                               |
|-----|-------------------------------|
| ①日程 | 4月19日(火)～29日(金)               |
| ②人数 | 延べ6名(保健師2名、事務職1名)×2班(1班は派遣済み) |

(4) 支援物資の管理・輸送および避難所運営等に関する支援活動

- |     |                 |
|-----|-----------------|
| ①日程 | 4月20日(水)～24日(日) |
| ②人数 | 2名(事務職2名)       |

(5) 避難所運営業務

- |     |                   |
|-----|-------------------|
| ①日程 | 4月27日(水)～5月18日(水) |
| ②人数 | 延べ87名(職員29名×3班)   |

(6) 災害派遣精神医療チーム

- |     |                      |
|-----|----------------------|
| ①日程 | 4月28日(木)～5月4日(水)     |
| ②人数 | 4名(医師1名、保健師1名、心理職2名) |

記者発表資料  
平成28年4月21日  
(担当) 環境局総務課  
(直通) 214-8214  
(内線) 736-3410

～災害廃棄物の処理をアドバイス～  
**熊本地震の被災地に環境局職員を派遣します**

公益社団法人全国都市清掃会議からの要請を受け、仙台市では4月22日（金）から災害廃棄物の処理に関するノウハウを有する職員2名を派遣します。

職員は、国（環境省）や熊本県、益城町などの被災市町村に対し、東日本大震災での経験や知見を踏まえた、がれき等の災害廃棄物の処理方針・処理計画の策定、実施体制の構築などの支援活動を行います。

1 派遣期間 4月22日（金）～25日（月）3泊4日

2 派遣職員（2名）

環境局 次長 遠藤 守也（えんどう・もりや）

（東日本大震災当時）

環境局 リサイクル推進課長

平成23年5月1日より、震災廃棄物対策室主幹として、震災廃棄物の処理に係る企画立案等の中心を担った。

都市整備局蒲生北部整備課 主幹兼工事係長 鈴木 陽（すずき・よう）

（東日本大震災当時）

環境局 環境都市推進課 環境調整係長

平成23年5月1日より、震災廃棄物対策室主査として、津波等によるがれき撤去の実務に従事した。

3 スケジュール

・4月22日（金）

8：30 出発式（市役所本庁舎前庭駐車場）

9：15 仙台駅発（仙台空港アクセス線）

10：20 仙台空港発（ANA）

12：25 福岡空港着⇒熊本県庁（レンタカー）

災害廃棄物等処理に関する支援活動および情報収集

・4月23日（土）～24日（日）

災害廃棄物等処理に関する支援活動および情報収集

・4月25日（月） 災害廃棄物等処理に関する支援活動および情報収集

13：00 益城町発⇒福岡空港（レンタカー）

19：10 福岡空港発（ANA）

21：37 仙台空港着

記者発表資料  
平成28年4月21日  
(担当) 都市整備局市営住宅管理課  
(内線) 700-3761  
(直通) 214-8331

## 熊本地震の被災者を対象に市営住宅を提供します

熊本地震により住宅に被害を受けた方に対し、住宅の修理または新たに確保する間の、一時的な滞在場所として、市営住宅を提供します。

- 1 提供戸数 30戸
- 2 対象者 熊本地震により、住宅が居住不能の状態になった方  
※収入基準等の入居資格は問いません
- 3 使用期間 6カ月 ※状況に応じて延長
- 4 使用料 無償（家賃・駐車場・敷金）  
※光熱水費および共益費は入居者負担
- 5 受付開始日 4月22日（金）8時30分～  
※平日8時30分～17時受け付け

### 6 申し込み手続

電話で市営住宅管理課（電話022-214-8331）までお問い合わせください。

申請の際には、所定の申込書と本人確認書類（運転免許証、保険証等）、および罹災証明書（後日提出可）が必要となります。

記者発表資料  
平成28年4月21日  
(担当) 都市整備局建築審査課  
(内線) 700-3820  
(直通) 214-8466

～応急危険度判定を支援～  
**熊本地震の被災地に職員を派遣します**

全国被災建築物応急危険度判定協議会\*から支援要請があり、熊本地震の被災地へ建築職の職員を派遣します。職員は被災建築物応急危険度判定士の資格を有し、応急危険度判定の業務に従事します。

### 1 派遣期間と派遣職員

- (1) 第A陣 4月22日(金)～26日(火)(2名)  
都市整備局建築審査課 係長 池田 篤史(建築職)  
都市整備局建築指導課 係長 櫻井 宏至(建築職)
- (2) 第B陣 4月25日(月)～29日(金・祝)(4名)  
都市整備局市街地整備課 係長 村上 渉(建築職)  
都市整備局都市計画課 係長 中塚祐一郎(建築職)  
都市整備局住宅政策課 係長 籾内しずか(建築職)  
太白区役所街並み形成課 主任 今井 裕子(建築職)

2 派遣場所 熊本地震により被災した市町村

### 3 業務内容

被災建築物応急危険度判定士の資格を有する職員が、住民が二次災害に巻き込まれることを防止するため、被災建築物の余震等による倒壊の危険性を応急的に判定する。

#### ※全国被災建築物応急危険度判定協議会

平成8年設立。地震直後に、被災建築物の応急危険度判定を迅速かつ的確に実施するため、応急危険度判定の方法、都道府県相互の支援等に関して事前に調整を行うことにより、応急危険度判定の実施体制の整備を行うことを目的とする

～平成28年熊本地震の被災地へ～  
下水道被害の第2次調査にかかる技術職員を派遣します

平成28年熊本地震による熊本市内の下水道施設被害の復旧支援として、第2次調査にかかる技術職員（第4班～第7班）を計12名派遣します。

## 1 派遣期間、派遣者

### <第4班>

(1) 派遣期間 4月27日（水）～5月4日（水）（8日間）

(2) 派遣者（3名）

建設局管路建設課 係長 佐藤 一志（さとう・かつし）土木職  
技師 菊地 重友（きくち・しげとも）土木職  
施設建設課 主査 栗田 隆行（くりた・たかゆき）土木職

### <第5班>

(1) 派遣期間 5月2日（月）～10日（火）（9日間）

(2) 派遣者（3名）

建設局施設建設課 係長 阿部 俊英（あべ・としひで）土木職  
下水道調整課 係長 鎌田 清孝（かまた・きよたか）土木職  
管路建設課 主査 廣瀬 恆太（ひろせ・こうた）土木職

### <第6班>

(1) 派遣期間 5月8日（日）～16日（月）（9日間）

(2) 派遣者（3名）

建設局下水道調整課 課長 甲野藤 弘憲（こうのとう・こうけん）土木職  
主査 木皿 尚宏（きさら・なおひろ）土木職  
施設建設課 係長 鈴木 敏博（すずき・としひろ）土木職

### <第7班>

(1) 派遣期間 5月14日（土）～21日（土）（8日間）

(2) 派遣者（3名）

建設局下水道南管理センター 所長 関場 謙一（せきば・けんいち）土木職  
下水道計画課 主査 伊藤 孝優（いとう・たかひろ）土木職  
下水道調整課 主査 柴田 誠（しばた・まこと）土木職

## 2 従事内容

- (1) 下水道災害対策本部での現地支援総括
- (2) 第2次調査（下水道管カメラ調査）の監督 など

## 3 出発式（第4～7班）

- (1) 日時 4月26日（火）17:00
- (2) 会場 市役所本庁舎6階 建設局第1会議室

記者発表資料  
平成28年4月25日  
(担当) ガス局経営企画課  
(内線) 760-2121  
(直通) 292-7652

～仙台市ガス局からライフライン復旧支援～

## 平成28年熊本地震の被災地へカセットコンロを送ります

平成28年熊本地震の発生に伴い、被災者の皆さまに対する生活支援物資として、カセットコンロ等を提供します。

東日本大震災の際にいただいた全国ガス事業者のご厚意に応え、一日も早いライフラインの復旧に繋がるよう支援します。

### 1 提供物資

カセットコンロ	1,000台
カセットコンロ用ガスボンベ	2,000本

### 2 提供先

一般社団法人日本ガス協会からの要請により、現地の都市ガス事業者を經由して、被災者の皆さまに提供します。

### 3 積込作業および出発式

#### (1) 積込作業

- ①日時 4月25日(月) 18時
- ②場所 ガス局幸町三丁目倉庫(宮城野区幸町3-12-1)  
※10トントラックへの積み込みを行います

#### (2) 出発式

- ①日時 4月25日(月) 18時30分
- ②場所 ガス局幸町三丁目倉庫(宮城野区幸町3-12-1)
- ③内容 ガス事業管理者あいさつ  
出発、見送り

記者発表資料  
平成28年4月25日  
(担当) 水道局総務課  
(内線) 740-2110  
(直通) 304-0006

## ～水道管の漏水調査と修繕を支援～ 熊本市へ水道技術職員を派遣します

公益社団法人日本水道協会からの支援要請により、熊本市へ水道技術職員を派遣します。職員は、宮城県管工業協同組合<sup>\*</sup>と協働し、漏水調査および修繕の業務に従事します。

### 1 現地活動期間と派遣職員

(1) 第1陣 4月27日(水)～1週間程度(3名)

水道局給水部南配水課 課長 千葉 敏昭(ちば・としあき)  
南配水課 主任 東海林 和彦(とうかいりん・かずひこ)  
計画課 技師 小保内 啓太(おぼない・けいた)

(2) 第2陣 4月28日(木)～1週間程度(4名)

水道局給水部南配水課 主査 高橋 満(たかはし・みつる)  
南配水課 主任 佐々木 徹(ささき・とおる)  
北配水課 技師 阿部 友之(あべ・ともゆき)  
北配水課 技師 末永 詠嗣(すえなが・えいじ)

<sup>\*</sup>宮城県管工業協同組合の組合員13名が同行

### 2 業務内容 水道管の漏水調査および修繕

### 3 スケジュール

4月24日(日) 午後4時	日本水道協会本部より応援要請
25日(月)	第1陣出発、フェリー乗船(東京発 北九州着)
26日(火) 午前10時	第2陣出発式(水道局庁舎敷地内南側グラウンド) 第2陣水道局出発、フェリー乗船(東京発 北九州着)
27日(水) 早朝	第1陣北九州市に到着、同日中に熊本市へ到着
28日(木) 早朝	第2陣北九州市に到着、同日中に熊本市へ到着

### ※宮城県管工業協同組合

管工事資機材の共同購買と共同販売、配管工事の共同受注等を主要事業とし、組合員121社、準組合員7社で構成。仙台市水道局と「災害時等における水道施設復旧等に関する協定書」を締結している

記者発表資料  
平成28年4月25日  
(担当) 危機管理室防災計画課  
(直通) 214-3046  
(内線) 700-6331

～熊本地震の被災地支援～  
**熊本市に避難所運営支援職員を93名派遣します**

熊本市からの「広域・大規模災害時における指定都市市長会行動計画」に基づく支援要請を受け、仙台市では4月26日（火）から、避難所運営支援のため職員93名を派遣します。

職員は、熊本市北区の避難所において、東日本大震災での経験や知見を踏まえた、支援活動を行います。

**1 派遣期間**

- |           |                   |      |
|-----------|-------------------|------|
| (1) 1週目派遣 | 4月26日（火）～5月5日（木）  | 10日間 |
| (2) 2週目派遣 | 5月4日（水）～5月12日（木）  | 9日間  |
| (3) 3週目派遣 | 5月11日（水）～5月19日（木） | 9日間  |

**2 派遣職員（93名）**

- (1) 避難所運営支援職員 78名（各週26名）  
（避難所運営の経験者および仙台市避難所担当課職員など）
- (2) 避難所運営支援職員の補助要員 15名（各週5名）  
（補助要員の業務内容）
- ・仙台市危機管理室や熊本市北区役所との連絡調整、派遣職員への指示・伝達
  - ・現地の被害調査 など

**3 派遣場所**

熊本市北区における指定避難所

**4 スケジュール**

- ・4月25日（月） 16：15 出発式（市役所8階ホール）
- ・4月26日（火） 1週目派遣職員（31名）出発  
10：20 仙台空港発  
12：25 福岡空港着
- ・4月27日（水） 避難所運営支援活動開始

記者発表資料  
平成28年4月25日  
(担当) 総務局庶務課  
(直通) 214-1201  
(内線) 700-2051

## 宮城県市長会から熊本県市長会へ見舞金を送付いたします

平成28年4月22日に東松島市で開催しました宮城県市長会議におきまして、平成28年熊本地震による被害へのお見舞として、宮城県市長会から熊本県市長会へ見舞金を送付することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

- 1 金額 100万円
- 2 送付時期 今週中に送付予定(銀行振込)

記者発表資料  
平成28年4月25日  
(担当) 総務局秘書課  
(内線) 700-2000  
(直通) 214-1145

## 熊本市に対し災害見舞金を贈ります

熊本地震により、多くの被害が発生している政令指定都市の熊本市に対して、本市より見舞金を贈ります。

- 1 見舞金額 200万円
- 2 贈呈方法 藤本副市長が4月27日(水)に熊本市役所を訪問し、目録を贈呈します。

記者発表資料  
平成28年4月25日  
(担当) 議会事務局庶務課  
(内線) 700-4611  
(直通) 214-6164

## 仙台市議会より熊本市に災害見舞金を贈ります

平成28年熊本地震により多くの被害が発生した熊本市に、本市議会から見舞金を贈ります。

- 1 贈呈内容** 見舞金55万円（全議員が1人1万円を負担）
- 2 贈呈方法** 議長が4月27日（水）に熊本市議会を訪問し、見舞金を贈呈します。

記者発表資料  
平成28年4月27日  
(担当) 市立病院総務課  
(代表) 308-7111  
(内線) 731-2110

## 熊本地震の被災地に看護師を派遣します

日本医師会からの要請を受け、JMAT<sup>※1</sup>宮城の隊員として、熊本地震の被災地に仙台市立病院の看護師2名を派遣します。

### 1 派遣期間および派遣職員

- (1) 4月29日(金)～5月2日(月)  
看護部看護師 遠藤 祐一
- (2) 5月2日(月)～5日(木)  
看護部看護師 石川 智子

### 2 派遣場所 熊本県益城町(予定)

### 3 業務内容 避難所等において、被災者に対する医療・看護活動に従事します。

### 4 市立病院の職員派遣状況

DMATロジスティックチーム<sup>※2</sup>の隊員として、医師1名を派遣しています。

- (1) 派遣職員 救急科医長 庄子 賢
- (2) 派遣期間 4月23日(土)～29日(金)

#### ※1 JMAT(日本医師会災害医療チーム Japan Medical Association Team)

日本医師会が、被災地の医師会からの要請に基づいて派遣する医療チーム。被災地外の都道府県医師会ごとにチームを編成し、主に災害急性期以後、避難所等における医療・健康管理活動を担う。

#### ※2 DMATロジスティックチーム

DMAT(災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team)は、医師、看護師、医療職などで構成。大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム。

ロジスティックチームは、DMAT都道府県調整本部等の本部業務において、主に病院支援や情報収集等の後方支援を専門とした活動を行う。

熊本では現在、DMAT活動は終了し、ロジスティックチームは熊本県が設置した医療救護調整本部の指揮下で活動を継続している。

記者発表資料  
平成28年4月27日  
(担当) 危機管理室防災計画課  
(直通) 214-3046  
(内線) 700-6331

～熊本地震の被災地支援～  
**熊本市に罹災証明受付業務・建物被害認定調査業務の  
支援職員を派遣します**

熊本市からの「広域・大規模災害時における指定都市市長会行動計画」に基づく支援要請を受け、  
仙台市では、罹災証明受付業務・建物被害認定調査業務の支援のため職員延べ32名を派遣します。

**1 罹災証明受付業務支援**

- |           |                 |    |
|-----------|-----------------|----|
| (1) 派遣期間1 | 5月2日(月)～12日(木)  | 5名 |
| 支援従事期間    | 5月3日(火)～11日(水)  |    |
| (2) 派遣期間2 | 5月11日(水)～21日(土) | 5名 |
| 支援従事期間    | 5月12日(木)～20日(金) |    |

**2 建物被害認定調査業務支援**

- |           |                 |    |
|-----------|-----------------|----|
| (1) 派遣期間1 | 5月2日(月)～9日(月)   | 6名 |
| 支援従事期間    | 5月3日(火)～8日(日)   |    |
| (2) 派遣期間2 | 5月8日(日)～17日(火)  | 8名 |
| 支援従事期間    | 5月9日(月)～16日(月)  |    |
| (3) 派遣期間3 | 5月16日(月)～25日(水) | 8名 |
| 支援従事期間    | 5月17日(火)～24日(火) |    |

**3 派遣場所** 熊本市

**4 スケジュール**

- ・4月28日(木) 16:00 出発式(市役所本庁舎2階 第1委員会室)
- ・5月 3日(火) 期間1の職員による業務支援開始

記者発表資料  
平成28年4月28日  
(担当) 都市整備局市営住宅管理課  
(内線) 700-3761  
(直通) 214-8331

## 熊本地震の被災者へ市営住宅の提供が決まりました

仙台市では、熊本地震により住宅に被害を受けた方を対象に、住宅修理等のための一時的な滞在場所として、市営住宅の入居の申し込みを4月22日より受け付けていましたが、このたび2戸の入居が決まりました。

- 1 提供戸数 2戸
- 2 入居者 熊本県熊本市および熊本県菊池市からの避難者
- 3 入居期間 4月28日(木)および5月9日(月)から6カ月  
※状況に応じて延長
- 4 使用料 無償(家賃・駐車場・敷金)  
※光熱費および共益費は入居者負担